

# 「あそび」を通じて地域の関わりあいを育む “かわのまちまちあそび事業”

2025年度実施報告

【期間：2025年7月～2026年2月】

シミズシーズ

## 【事業概要】

(1) 中間支援団体である当法人を主体として、複数の多様な主体がともに企画・運営する地域交流型の遊び場「かわのまちまちあそび」を、小中学生が参加しやすい長期休暇を中心に年3回程度開催する。企画段階からシニア世代や学生、療育施設、地域団体など日常では交わりにくい層をコーディネートすることで立場や世代を越えた協働をきっかけに継続的な関係性が生まれる場とする取組を行う。

(2) 子どもや保護者等の来場者も遊ぶ側にとどまらず、「遊びをつくる側」にも回れるよう関わりしるを設け、主体的な参画を促すといった工夫を行う。また、東播磨地域の地域団体や地域住民が学び合い、交流できる機会を設けることで、遊びを媒介とした緩やかなつながりを地域内外へ広げていくことを目指す。

## 【事業実施状況】

### 第1回かわのまちまちあそび

～子どもたちが企画するものづくりワークショップと室内遊びの回～

実施日：8月26日(火)10:00～12:00

開催場所：東播磨生活創造センター「かこむ」

来場者：95名

協力団体：木のおもちゃころころ、こどりーむ、Comgyu、  
かこむ図書パートナー、加納さん（計4団体）

ボランティアスタッフ：7名（小学生2名、高校生3名、大学生2名）

内容：木のおもちゃ自由遊び、ボードゲーム、ダンボールクラフト、  
スライム作りワークショップ（フリースクール学生主催）  
デコホイップクリップ作り（小学生店長主催）など



### 第2回かわのまちまちあそび

実施日：11月2日(日)13:00～16:00

開催場所：ベルデモール商店街

来場者：350名

協力団体：NPO法人ゆるり家、のぞえプレーパークのこのこ、

NPO法人高砂キッズ・スペース、加納さん（計3団体）

ボランティアスタッフ：11名（中・高校生6名、大学生2名、30代～70代3名）

内容：落書きエリア、アクティブエリア、クラフトプレイエリア

ボードゲーム、書道コーナーなど



### 第3回かわのまちまちあそび

～クラフトや伝承あそびを楽しむクリスマスの回～

実施日：12月26日(金) 10:00～12:00

開催場所：東播磨生活創造センター「かこむ」

来場者：81名

協力団体：伝承遊び倶楽部、こえのとびら、カリンバの会、図書パートナー  
折り紙同好会（計5団体）

ボランティアスタッフ：6名（中学生2名、高校生3名、70代1名）

内容：段ボールクラフト、伝承遊び、絵本読み聞かせ、カリンバ演奏など



### あそび場づくりフォーラム2025（研修会）

～多世代・多属性があつまる場のつくり方～

実施日：11月16日(日) 14:00～17:00

開催場所：加古川まるいビル3階

来場者：36名

スピーカー：はっぴーの家ろっけん代表 首藤義敬氏

内容：首藤氏による講話、ゲストスピーカーとのクロストークセッションなど



## 【総括】

・各回において企画段階より、地域団体が参加することで、協働による緩やかな継続のある関係性構築のきっかけとなった。事前打ち合わせや準備の過程において、互いの活動内容や想いを共有する機会を重ねたことで、団体同士の理解が深まり、関係性の構築につながった。各回の終了後も参加団体がそれぞれの出展イベントへ参加したり、共同でのイベントを開催するなど、継続的な関わり合いの様子も見られた。

・学生ボランティアや一部の来場者が主体的にあそびを展開し、役割を超えて動く姿が見られた。初めてボランティアに参加する者も多かったが、事前の関わりや当日のサポートにより安心して関われる環境が整い、主体的な関与につながった。

・当日の来場者が、他の来場者に遊び方を教えたり、片付けを手伝ったりするなど、自然と「運営する側」になる場面が何度も見られました。来場者が自由に関われる余地を残しておいたことで、自主的な行動を促し、「遊びを作る側」を体験する機会につながりました。

・シニア世代が、遊びを伝える役割として活躍する場面が多く見られた。主体的に関わりながら、これまでに培ってきた経験や知恵を生かし、遊びと一緒に広げる姿があり、子どもや保護者、学生ボランティアとの自然な交流が生まれていた。